

(第7分科会)

地方型の就労支援における テレワーク訓練の意義と課題について —奈良県の就労移行支援事業所 からの報告—

発表者：○青木真兵(社会福祉法人ぷろぼの)
共同研究者：川端信宏(社会福祉法人ぷろぼの)
藤田 敦子(社会福祉法人ぷろぼの)

- 1.奈良県におけるテレワーク
- 2.利用者ニーズの変化
- 3.株式会社テクノプロ・スマイルとの
連携
- 4.まとめ(地方型就労支援における
テレワーク)



1. 奈良県におけるテレワーク 2019年度よりテレワーク支援開始 2020年10月より テレワーク支援センター開設

特集：テレワーク、遠隔支援とICT・支援機器 -新型コロナウイルスを契機として-

コロナ禍における全利用者を対象とした テレワーク訓練の実践から

*Providing telework vocational training programs for all individuals with disabilities before, during,
and after the COVID-19 pandemic*

青木 真兵^{*1}・川端 信宏^{*1}・藤田 敦子^{*1}・阪本 佳央^{*2}

Shinpei AOKI

Nobuhiko KAWABATA

Atsuko FUJITA

Yoshiko SAKAMOTO

職業リハビリテーション, 34 (2), 74-79, 2021

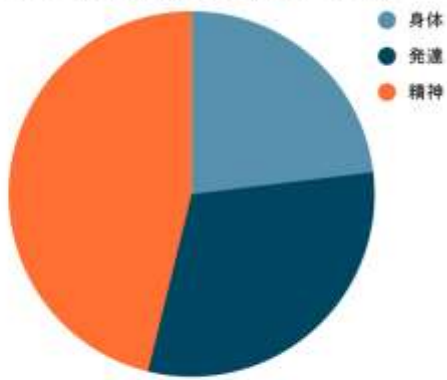
- 障害者雇用率第一位
作業系パート
雇用に偏り
- 約7割が山間地域
- 最低賃金866円
(大阪府992円)
- 訓練・就労する
選択肢が少ない



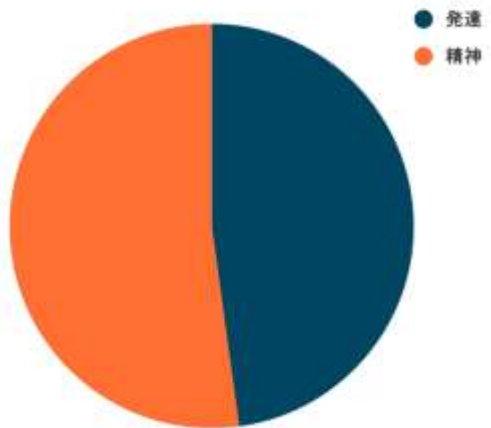
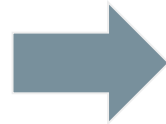
2.利用者ニーズの変化

2021年8月利用者(合計23名)

2020年12月利用者数(合計13名)



身体	3
発達	4
精神	6



身体	0
発達	11
精神	12

利用者ニーズ変化の背景

・障害特性とテレワークが マッチしている

障害名	テレワーク就労を希望する理由の例
不安障害	人の多い環境が苦手、視線や声が気になってしまう
適応障害	公共交通機関が苦手、周囲の視線や声が気になる
統合失調症	同僚と温和な人間関係の維持が難しい
発達障害	パソコンは操作は得意だが、対人対応が苦手
発達障害	男性が苦手、外に出て働くより家で働きたい

利用者
の声

事業所に行くことでかなり疲労していたが、間に在宅訓練の日を入れることで週に訓練できる日が増えた。

音声通話を繋いでいると、思ったより孤独な感じはなかった。

休憩時間には家のベッドで横になって休めるので、午後も頑張れる。

静かな環境で作業できるので、集中できる。周りの人を気にしなくてもよくなった。

ぷろぼのTWCコペル
パンフレットより

テレワークは「ローコンテキスト」の場

	通常訓練	在宅訓練
訓練の方向性	対人スキル重視	技術的スキル重視
アセスメント	職業準備性のボトムアップ	職業準備性のトップダウン
就職活動	社会性重視	技能重視
支援の方向性	課題解決型	特定技能特化型
就労イメージ	通勤/通所	在宅/テレワーク
訓練実施における負荷	状況への対応	訓練環境の整備
指示理解のベース	現場説明 (口頭/実演/体験)	マニュアル/テキスト (文章理解/質疑応答)
職員に求められる能力	察知能力 (観察型のアセスメント)	分析能力 (読み解き型のアセスメント)
振り返りのタイミング	タイムラグを発生させない	タイムラグの発生が前提

青木他「コロナ禍における全利用者を対象としたテレワーク訓練の実践から」『職業リハビリテーション』34(2) p.78より

3.株式会社テクノプロ・スマイルとの連携

- ・東京に本社を置く(株)テクノプロ・スマイルには、当法人から10名以上が就職。定着率は100パーセント
- ・年二回の採用選考試験を実施。不採用でも理由をフィードバックしてもらった上で再チャレンジが可能

3.株式会社テクノプロ・スマイルとの連携

採用について：採用フロー（リトライ）について

採用フロー

採用

応募 → 書類審査 → 一次面接 → トライアル → 二次面接 → 採用検討会 → 内定 → 入社

フィードバック

不採用

ミスマッチ

リトライ

再選

※リトライ制は、候補の結果、入社とはならないが再度応募可能なとした制度。但し、不採用が全員が適用ではなく、一部の基準を定めている。

【リトライ基準】

- フォローアップ期間の経緯により選考のクリアが想定される方、
- 応募時期、書類審査、面接結果、面接は毎年
- リトライ対象者のリトライ枠としての応募は1回目まで有効。
- 2回目以降の応募は、新規応募として扱われます。

TECHNOPRO

13:23 / 1:13:02 ・テクノプロ・スマイルテレワークで働くうえで求...

テレワークセミナー
(<https://youtu.be/IumEdhyd7AA>)より

3.株式会社テクノプロ・スマイルとの連携

採用について：テレワークの人材要件

“ぶろぼの”で訓練できる

【前提】

- ・勤怠が安定している方
- ・週5日、6時間お仕事ができる方

※夜間および急遽出勤、リハビリについては考慮します。

- 1、TSMで働きたいと意欲が高い方
- 2、自己管理ができる方
- 3、理解力・修正能力のある方
- 4、自己発信ができる方
- 5、共に働く仲間とコミュニケーションを図り、仕事をやっていきたいと思える方

合格 → 採用

合格 → リトライ

不合格 → 不採用

TECHNOPRO

19:05 / 1:13:02 ・ テクノプロ・スマイルテレワークで働くうえで求

テレワークセミナー
(<https://youtu.be/IumEdhyd7AA>)より

テレワーク支援センター(TWC) における訓練カリキュラム

訓練カリキュラム

主に「テレワーク就労で求められる力」をトレーニングしていきます

職業適性評価	職業訓練プログラム	テキストや動画で操作学習 日本情報処理検定の課題（文章作成、文章デザイン、表計算、パワーポイント、WEB制作） 自己整理シートで得意不得意の整理 障害特性の理解と伝達 配慮のある働き方を知る 職場での基本的なマナー
ビジネスマナー	事務実習	報連相・納期を意識した作業 / データ入力等の実務実習
就職活動	ジョブガイダンス	応募書類の書き方や求人票の見方
	面接練習	面接の受け答えや振る舞い方

- ・PCのスキル向上だけではなく、時間と報連相の意識づけが大事という意識の共有
- ・TWC職員とTSM人事担当で月に一度の定例MTG
- ・当事者、支援者向けテレワークセミナーの実施
(<https://youtu.be/IumEdhyd7AA>)

4.まとめ(地方型就労支援における テレワーク)

- ・テレワーク独自の訓練が効果的
- ・他企業との連携(株式会社D&Iなど)



- ・地方に住みながら、
東京の賃金水準で就労可能
- ・地方でも多様な働き方ができる社会
を実現